

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                |            |            |
|---------|----------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 0792830036     |            |            |
| 法人名     | 株式会社 エコ        |            |            |
| 事業所名    | グループホーム ほうすい 2 |            |            |
| 所在地     | 福島県西白河郡矢吹町北町85 |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成26年10月15日    | 評価結果市町村受理日 | 平成27年3月26日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokensaku.jp/07/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/07/index.php</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                             |  |  |
|-------|-----------------------------|--|--|
| 評価機関名 | NPO法人福島県シルバーサービス振興会         |  |  |
| 所在地   | 〒960-8253 福島県福島市泉字堀ノ内15番地の3 |  |  |
| 訪問調査日 | 平成26年12月12日                 |  |  |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

建物の構造を最大限に活かし、両ユニットを自由に行き来することができ、体力低下防止のための歩行運動や友人作りができる環境作りの工夫している。  
 法人の温泉施設への外出支援を行事の一環としお花見、芋煮会、毎月の誕生会と催し、楽しく過ごすことができる。また、機能維持の為に体操や口腔体操を毎日行っている。  
 両ユニットの利用者様を両ユニット全職員で個々の状態を把握し、情報の共有に努めている。また、安心安全、穏やかな毎日を暮して頂けるような支援に努めている。  
 地域とのつながりを大切にし、運営推進会議への参加や避難訓練の協力体制を得て、意見を頂きながら、より良いホーム作りを目指している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

|  |
|--|
|  |
|--|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   | 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当する項目に○印   |
|--|---|---|---|
| 56<br>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)       | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63<br>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない                |
| 57<br>利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)             | <input type="radio"/> 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64<br>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | <input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br><input type="radio"/> 3. たまに<br>4. ほとんどない        |
| 58<br>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                   | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65<br>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | <input type="radio"/> 1. 大いに増えている<br><input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない |
| 59<br>利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)     | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66<br>職員は、生き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない                   |
| 60<br>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                  | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67<br>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない                |
| 61<br>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)         | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68<br>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない             |
| 62<br>利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |   |   |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|--------------------|-----|---|---|------|-------------------|
|                    |     |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |   |      |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 毎朝の申し送り前、1・2ユニットの職員合同で法人、ホーム理念、ホーム目標を唱和し共有して実践につなげている。又、一日の始まりの心構えとして再確認に努めている。                 |      |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 自治会への加入や地域の盆踊り、秋祭りへ顔を出したりと地域の一員としてつながって行けるよう努めている。回覧板により地域の情報も得ている。                             |      |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 運営推進会議を通して事業所の成果、役割を伝えている。地域支援の情報交換の場にて認知症の人の理解や支援に活かしている。                                      |      |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、事業所の取組内容や具体的な改善課題がある場合にはその課題について話し合い、会議メンバーから率直な意見をもらい、それをサービス向上に活かしている                        | 2ヶ月に1回会議を開催し、ホーム状況を報告して、意見を頂きスタッフ会議及び議事録に目を通し全職員に伝えサービスの向上に活かしている。又、避難訓練に協力頂き意見をもらうなど活かしている。    |      |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる  | 矢吹町社会福祉協議会主催の情報交換会に積極的に参加したり、町の担当課、地域包括支援担当へ相談したりと連携を取り協力関係を築けるよう取り組んでいる。入居、退去時の報告も町の担当課へ伝えている。 |      |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束の研修に参加し、研修報告をスタッフ会議時に職員へ伝達、常に玄関の施錠はもちろん拘束をしないケアを実践し、利用者様に寄り添う介護に取り組んでいる。研修報告書は全職員が目を通している。  |      |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 職員は研修を受け、スタッフ会議時に報告、伝達し徹底防止に努めている。又、職員のストレスにより精神的虐待にいたらないよう、管理者、主任が聞き手となりサポートを行い防止に努めている。       |      |                   |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|-----|--|---|------|-------------------|
|    |     |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 研修に参加し、スタッフ会議時職員に伝達、報告書に目を通し学んでいる。今後、必要な利用者様に活用していきたい。現在活用はしていない。                         |      |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約時には、事前にご家族へ連絡して十分な時間を取って頂き説明を行い理解、納得できるよう図っている。又、解約時も同様である。                             |      |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | ご家族からは面会時に意見を頂いている。利用者様からは日々の関わりの中で、意見を聴いたりしている。その内容をスタッフ会議等で検討し、要望等に応えるよう努めている。          |      |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 毎月のスタッフ会議時には、できるだけ全職員が参加し、意見を述べる機会を設けている。スタッフ会議議事録も全職員が目を通してしている。                         |      |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 法人は、事業所や職員が向上心を持って働けるよう、実績、勤務状況を把握し職場環境、条件の整備に努めている。                                      |      |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 個人の能力、性格に合った研修へ参加している。法人内や外部への研修に参加し、各々のケアの質の向上に努めている。また働きがいをもてるよう、職員の声に耳を傾けている。          |      |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 2ヶ月に1度、矢吹町社会福祉協議会主催での勉強会に参加し、同業者との検討会や交流に努め利用者様へのサービスの質の向上をさせて頂く取り組みをしている。また、情報交換にも努めている。 |      |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----------------------------|-----|--|---|------|-------------------|
|                            |     |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |      |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 相談から利用にいたるまで、本人と寄り添いながら不安、要望などに耳を傾けている。また、居場所が出来て安心につながる関係作りに努めている。   |      |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 相談から利用にいたるまでの家族様の気持ちを受け止め、要望や不安などの思いを理解しながら家族様が納得して安心して頂けるよう努めている。  |      |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | ご本人の状態やご家族からの要望を受け止めながら、必要としている支援を見極めている。安心して暮らして頂けるよう他サービス利用も検討しながら対応している。                                     |      |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 家族の一員として共に過ごし、日々の生活の中で支え合う関係を築いている。また、関わっていく時間を多く持ち、本人をより深く理解していく事にも努めている。                                      |      |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 訪れやすいホーム作りに全職員は常に心がけ、大切にしている。また、家族様の思いを受け止め、家族様と共に本人を支え合う事ができる関係を築けるよう努めている。外出の協力をお願いし、関わって頂ける働きも行っている。         |      |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 利用者様の馴染みの店での嗜好品の買い物や散髪、知人が訪ねて来られたりとの関係が途切れないよう、支援に努めている。また、知人宅への訪問が出来るよう家族様への協力の働きも行っている。                       |      |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 一人ひとりの利用者様の性格を把握して利用者様同士が穏やかに生活できるよう努めている。日々リクリエーション等を通して楽しい時間が共有できるようにも努めている。また、両ユニットを自由に行き来しての友達作りの支援にも努めている。 |      |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 退居後も訪れやすい体制を整え、必要に応じて相談や支援等の対応をしている。   |      |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |      |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 日々の関わりの中で、利用者様の思いを聴き、希望や意向の把握に努めている。また、両ユニット合同のケース会議時に検討している。  |      |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | ご本人様、家族様に話を聞き生活歴や生活環境、馴染みの暮らしの情報の把握に努めている。また、入居後も日々の関わりの中で、情報を収集したり、面会時に聞いたり努めている。                       |      |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 利用者様の生活パターンや心身の状態を把握し、一人ひとりの力を最大限に引き出す声かけやケアを全職員が一丸となって心がけている。ケース記録にて両ユニットの職員が全利用者様の把握に努めている。            |      |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人がより良く暮らすために、ご本人や家族様の意見や要望を聞き、両ユニット合同でケース会議時話し合い介護計画を作成している。又、状態変化時においても家族様と話し合い、状態に即した計画の見直しを行い作成している。 |      |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 個別記録は介護計画に即した実践が記入できるようにしてある。個別記録の情報を職員は日誌に目を通したり、朝、夕の申し送り時に共有している。又、合同で行うケース会議に反映させ、介護計画の見直しに活かしている。    |      |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 利用者様や家族様の状況に応じてや状態に合った柔軟な支援やサービスを提供している。又、機能低下の予防として両ユニットを自由に歩行できるよう取り組んでもいる。                            |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|---|--|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 地区の盆踊りや秋祭りに参加したり、他ホームへ出かけたり、ボランティアを招いての行事を行ったりと楽しむ支援している。  |      |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 本人及び家族様の希望を大切に、かかりつけ医の受診や往診を行っている。家族様や主治医への連絡を密にし、事業所とかかりつけ医の関係を築いている。また、家族様に代わり通院に付き添う体制もある。家族様への報告もしている。 |      |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 週1回、医療連携を利用し、ホームの介護業務兼看護師と健康管理をしている。訪問看護師と情報の共有を図ると共に主治医と連絡を取り、状態変化時に適切な指示を仰いでもらえる支援をしている。                 |      |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 利用者様の入院先に、面会をし状態確認を行っている。又、主治医や医療相談員を交えて家族様と話し合い情報を共有し退院に向けての支援を行っている。                                     |      |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 入居時に重度化、終末期について説明を行い同意書を得ている。研修を通して全職員が意識の共有化に努め、ホームで出来る事の指針も説明している。又、主治医や家族様との話し合いの場を持つ支援にも努めている。         |      |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 法人独自のマニュアルにより対応に備えている。また、地域の法人主催、消防署救急隊の研修に参加、職員は応急手当等を学び実践力を身につけられるように努めている。                              |      |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 年2回の総合避難訓練を地域の方の協力体制を得て消防署と本社立ち合いの下、行っている。又、毎月の自主訓練も独自に行い、慌てず安全に避難できるよう繰り返し行っている。                          |      |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----------------------------------|------|---|--|------|-------------------|
|                                  |      |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |  |      |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                      | 利用者様の尊厳やプライバシーを損ねないよう傾聴対応に努め同行や耳もとでの囁きの声かけやケアの対応に気をつけている。個人情報の保持の注意をしている   |      |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                        | 日常生活の中で本人の思いや希望を会話や動作等にて気づき対応、自己決定できるように働きかけている。   |      |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している    | 一人ひとりのペースを大切に過ぎて頂けるよう傍に寄り添い、会話やジェスチャーを取り入れたりして、その日、その時間をその人らしく過ごせるよう支援している。  |      |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                     | その人らしい身だしなみのための声かけや必要に応じての支援をしている。外出時の着替えも一緒に選んだりとおしゃれができるよう支援している。  |      |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事に関連した作業を利用者とともに職員が行い、一緒に食事を味わいながら利用者にとって食事が楽しいものになるような支援を行っている | 食事前のテーブル拭きや手指の消毒を一緒に行ったり、職員も一緒にテーブルを囲み、ゆっくりとコミュニケーションを図り楽しく味わいながら食事ができる支援を行っている。又、口腔体操も夕食前に行い食べる楽しみの維持ができるよう努めている。 |      |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている             | 利用者様に合わせた食事の形態、量など一人ひとりの状態や栄養のバランスを考えて支援している。食事量、水分量の記録や差し入れの提供も行っている。   |      |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                      | 食後に口腔ケアの声掛けや必要に応じての支援を行い清潔保持に努めている。夜間帯、意志疎通の困難の利用者様の対応はジェスチャーにて義歯を預かるなど行っている。                                      |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                             | 一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけ、誘導を行いトイレで気持ち良く排泄できるよう支援を行っている。また、できるだけ長く綿パンツでいられるよう自立にむけた支援にも努めている。                              |      |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる   | 毎日のラジオ体操や創作体操の実施や水分量のチェックを行い、必要に応じて水分を提供し、自然に排泄できるよう取り組んでいる。独自のチェック表にて排泄確認も行ったり、腸の動きをよくするため両ユニット間の歩行運動が自由にできるようにしている。 |      |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                            | 一人ひとりの体調や状態を確認しながら、希望やタイミングに合わせて入浴が楽しめるよう、個々に沿った支援をしている。入浴後の嗜好品も取り入れている。  |      |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している  | 日中、ホールで過ごせる支援や適度に体を動かす運動の支援を行い、気持ち良く眠れるよう支援している。夜間時は、眠くなるまでお話を聴いたり安心できるよう傾聴対応にも努めている。                                 |      |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | 服薬の内容を全職員が理解し、本人であるか服薬前、服薬後の確認を行うなど細心の注意に努めている。又、薬の保管も、毎回鍵をかけて対応。服薬変更時は申し送り時や日誌に書き、伝達して変化の確認にも努めている。                  |      |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                            | 一人ひとりの力を活かし出来る事の役割を見出し、張り合いがもて、人の役にたつことができる喜びの日々を過ごせるよう支援している。嗜好品の提供の支援もしている。   |      |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 毎月、行事の一環として法人運営の温泉施設へドライブを兼ねての入浴外出やお花見、芋煮会、散髪と戸外にでかけられるよう支援に努めている。又、家族様の協力を得ながらの夕食、買い物、お墓参りや知人宅へでかけられる支援にも努めている。      |      |                   |



| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 事業所で毎日残金の確認し鍵をかけて保管、本人が使いたい時渡せるよう支援している。高額な物の要求時は家族様へ確認後使えるよう支援している。また、毎月のお手紙にて報告もしている。             |      |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 家族様の協力を得ながら、本人がいつでも電話をかけられる支援や手紙のやり取りができる支援をしている。   |      |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている   | 共有空間は明るく清潔な雰囲気を保ち、不快や混乱をまねかない居心地のよい空間になるように、常に職員は気を配っている。また、手作りカレンダー等を掲示したりと居心地よく過ごすことができるよう工夫している。 |      |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 新聞や写真集を読んだり、テレビを観たり、隣のユニットへ行き来したりと気の合った人と会話ができる支援に努めている。また、ひとりで過ごせるスペースも設けている。                      |      |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切にし本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている(グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている(小規模多機能の場合)宿泊用の部屋について、自宅とのギャップを感じさせない工夫等の取組をしている | 今迄使用していた馴染みの家具や身内の位牌、写真を置いたりして居心地よく安心して過ごせる環境整備の配慮に努めている。プライバシーを大切に、排泄等が安心してできるよう配慮している。            |      |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 安心、安全に自立して生活して頂けるよう、共有スペースに手すりを設置、常に通路を確保し、自ら出来る限り移動ができるようにしている。                                    |      |                   |